

# 解説付きでピアノ四重奏を楽しみませんか？

ピアノ四重奏とは、ピアノ、ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロの4名の奏者によって演奏される室内楽の1ジャンルです。今回取り上げるモーツァルト、ブラームス、フォーレの作品は、それぞれの時代を代表する名曲揃い、いずれも4つの楽器によって歌われる美しいメロディーが聴きどころです。どのパートも弾いていて楽しいため、アマチュアは好んでピアノ四重奏を演奏しますが、美しいメロディーを美しく歌うことは実はとても難しいのです。聴き手の心に届く演奏をするためには、一体どうすれば良いのでしょうか？

今回のレクチャーコンサートでは、「古典四重奏団」のチェロ奏者としてご活躍中の田崎瑞博氏をお招きし、そのコツを教えていただくことにしました。各グループの持ち時間は50分。まず演奏、その後レクチャー&レッスン、そしてもう一度演奏します。楽曲紹介と演奏のコツと。

1粒で二度おいしいレクチャーコンサート、ぜひご来聴下さい！！

## 田崎講師からのメッセージ

ハーモニーの勉強はむずかしそうです。属7(ぞくしち)とか、ナポリの6とか言われたってぴんときません。でも、文法を知らなくたって子供達はわけなく言葉をあやつると同じように、ハーモニーは身体全体で感じ取れば良いのです。ハーモニーの自然な流れこそが、旋律の美しい曲線を作るのです。アンサンブルの全員が心をひとつにして、すべてのみなもと、ハーモニーを楽しんでしましましょう。

# 日本アマチュア演奏家協会（エイパ）とは？

通りがかりの家から聞こえる楽器の音。『まだ見知らぬその人と合奏ができたらどんなに楽しいだろうか。そんな連絡網はできないものだろうか。』合奏相手でもあった最愛の娘を失った父親の素朴な願いが実を結んで、1974年6月にこの会は発足しました。

皆様に支えられて、エイパは今年で設立以来43年目を迎えます。今までに全国で4100名以上の方が会員登録されましたが、現在は、首都圏で650名、関西で260名、その他全国で160名、合計1070名ほどの方々が、登録会員として活躍中です。2008年7月にはNPO法人（特定非営利活動法人）としての登録も行いました。

現在のエイパの主な活動は、首都圏、名古屋地区、関西の各地でのさまざまな例会活動（月に1回集まって室内楽を楽しむ）、年に一度の年次大会（コンサート、プロ演奏家との合奏、公開レッスン等盛りだくさん）などです。さらに昨年から新たにレクチャーコンサートシリーズを開始し、今回で第4回目となります。



室内楽を楽しんでみようと思いついたら、エイパのホームページ (<http://www.apa-music.org/index.html>) をご覧ください。たとえば首都圏なら、24もの様々な特色ある例会が、あなたの参加をお待ちしております。毎回違うメンバーと色々な曲を演奏するのを楽しむ会や、固定メンバーで半年間じっくりと1つの曲に取り組み、コンサートで発表する会など、きっとあなたのご希望に合ったスタイルの例会が見つかるはず。楽器は弦でも管でもピアノでも、そして歌でも大歓迎。室内楽歴が浅い方でも安心してご参加いただけます。